

山鹿市民医療センター

平成30年度 病院年報



◆ 基 本 理 念

「地域住民の^{いのち}生命と健康への貢献」

◆ 基 本 方 針

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行ないます。
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します。
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します。
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります。
- ⑤ 健全経営に努めます。

患者さまの権利と責務

- ① すべての人は平等に必要な最善の医療を受ける権利があります。
- ② 病気についてわかりやすく説明を受ける権利があります。
- ③ 検査や治療に関する説明を受ける権利と、それらを受けるかどうか選択する権利があります。
- ④ 他の医師や他の医療機関の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- ⑤ カルテの内容を知る権利があります。
- ⑥ プライバシーを尊重される権利があります。
- ⑦ 患者さまは病院の規則を守る責務があります。

1. 概 要

位置と環境

山鹿市民医療センターの所在地である山鹿市は、平成 17 年 1 月 15 日に山鹿市、鹿北町、菊鹿町、鹿本町及び鹿央町の 1 市 4 町が合併して新たな「山鹿市」として誕生し、面積 299.67 km²（東西 21.5 km・南北 26.7 km）、人口 57,726 人（平成 17 年国勢調査）となりました。

本市は、熊本県の北部に位置し、北は福岡県と大分県、東は菊池市、南は熊本市や玉東町、西は和水町にそれぞれ境を接しています。気候は平均気温が 16℃前後と比較的温暖であり、市の北部は緑豊かな山林に覆われ、ここに源をなす岩野川、上内田川などの河川が菊池川にそそぎ、本市中央部を東から西へ貫流して市の基幹産業である農業を潤しています。

本市南部には菊池川流域を中心とした平坦地に田園地帯が広がり、その中心部に市街地をなし幹線道路が放射線状に発達しています。市の中央では南北に国道 3 号、東西に国道 325 号・443 号などが結節し、地域交通のアクセス拠点となっています。

また、千年以上の歴史をもつ良質な「山鹿温泉」、夏の風物詩「山鹿灯籠まつり」、ほのかなロウソクの灯りがゆらりゆらりとゆらぐ幻想的な雰囲気心打たれる「冬の百華百彩」、江戸時代の伝統を受け継ぐ芝居小屋「八千代座」、さらには「チブサン古墳」に代表される装飾古墳群など、恵まれた自然環境と由緒ある歴史や伝統文化等を有する田園都市として古くから栄えてきました。特に山鹿温泉は「さくら湯」をはじめ多くの泉源が市民に親しまれるとともに、近年では「人気温泉地ランキング」の総合満足度で『山鹿・平山温泉』が上位に選ばれており、旧豊前街道沿いの古い商家の町並み等とともに、四季折々の観光を全国の皆様方に楽しんでいただいています。

2. 沿 革

山鹿市民医療センターは、昭和 23 年 8 月 1 日に山鹿町国民健康保険組合診療所として開設されました。昭和 25 年には国民健康保険山鹿病院と改称し、昭和 29 年の市政施行により国民健康保険山鹿市立病院とし、昭和 39 年からは山鹿市立病院に改めました。

また、平成 22 年 4 月 1 日から地方公営企業法全部適用に移行し、病棟等改築工事竣工のグランドオープンに合わせた平成 23 年 4 月 1 日から「山鹿市民医療センター」と改称し、現在に至っています。開設以来、次表のとおり幾多の変遷を経て、地域医療の中核病院としての役割を認識し、機能の充実強化に努めているところです。

施設の現況

(平成31年3月31日現在)

名 称	山鹿市民医療センター	病院番号：82・1009・5 労災番号：4360150
所 在 地	〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿 5 1 1 番地	
開 設 日	昭和 2 3 年 8 月 1 日	
開 設 者	山鹿市長 中 嶋 憲 正	
事 業 管 理 者	豊 永 政 和 (院長兼務)	
敷 地 面 積	1 9 , 9 7 5 . 6 3 m ²	
施 設 延 面 積	1 6 , 1 9 7 . 6 m ² (病棟：10,820.10m ² 、外来棟：1,958.58m ² 、管理棟：3,418.92m ²)	
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝内科、外科、消化器外科、 乳腺外科、産婦人科、整形外科、腫瘍外科、リハビリテーション科、放射線 科、小児科、泌尿器科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、緩和ケア内科、腫瘍内科	
医療機関指定	熊本県がん診療連携拠点病院指定 (H24. 11. 16) 地域医療支援病院名称使用承認 (H22. 11. 4) 災害拠点病院 (H8. 12. 27) 臨床研修指定病院〔協力型〕 (H16. 3. 31) 熊本DMA T指定病院 (H24. 3. 27) 開放型病院 (H18. 7. 1)、病院群輪番制病院 第二種感染症指定医療機関指定 (H11. 4. 1) 救急病院認定 (S41. 1. 27) 労災指定病院	
施 設 認 定 等 ※教育関連施設 の認定機関は2年 間で、更新審査 を受けることと なる。	日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本内科学会認定教育関連病院 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設 麻酔科学会認定病院 日本眼科学会専門医制度研修施設 日本静脈経腸栄養学会・NST (栄養サポートチーム) 稼働施設認定 日本整形外科学会専門医制度研修施設 日本リウマチ学会教育施設 熊本県がん検診従事者認定協議会胃がん・大腸がん精密検査機関 日本肝臓学会認定施設 日本消化器病学会認定施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 健康診査事業認定登録機関施設 日本胆道学会認定指導医制度指導施設 熊本県地域医療拠点病院	
主な医療機器 の 設 置 状 況	6 4 列マルチスライスC T、 1.5テスラMR I、乳腺撮影装置、骨密度撮影装 置、 シネアンギオシステム、人工呼吸器、A E D機能付き除細動器、個人用 急性血液浄化装置、 I A B P、体外式心臓ペースメーカー装置、自動錠剤分 包装置、自動散剤分包装置、自動薬袋印字システム、オールインワン自動採血 管準備システム、生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、多項目自動血球分 析装置、超音波診断装置、血液ガス分析装置、多機能心電計、2 4時間ホル ター心電図解析システム	
施設基準等届 出に関する事 項	一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1) 診療録管理体制加算 1 医師事務作業補助体制加算 1 急性期看護補助体制加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 1 感染防止対策加算 1 患者サポート体制充実加算 ハイリスク妊娠管理加算	

後発医薬品使用体制加算 1
 病棟薬剤業務実施加算 1
 データ提出加算
 入退院支援加算
 ハイケアユニット入院医療管理料 1
 地域包括ケア病棟入院料 2
 緩和ケア病棟入院料 1
 喘息治療管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん患者指導管理料イ
 がん患者指導管理料ロ
 がん患者指導管理料ハ
 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
 院内トリアージ実施料
 救急搬送看護体制加算
 ニコチン依存症管理料
 開放型病院共同指導料
 がん治療連携計画策定料
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料 1
 H P V 核酸検出
 検体検査管理加算（Ⅰ）
 検体検査管理加算（Ⅱ）
 時間内歩行試験
 コンタクトレンズ検査料 1
 C T 撮影及びMR I 撮影
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 1
 無菌製剤処理料
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
 がん患者リハビリテーション料
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 大動脈バルーンパンピング法（Ⅰ A B P 法）
 腹腔鏡下肝切除術
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
 医療点数表第 2 章第 1 0 部手術の通則の 1 6 に掲げる手術
 輸血管理料Ⅱ
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 麻酔管理料（Ⅰ）

手術に関する届け出

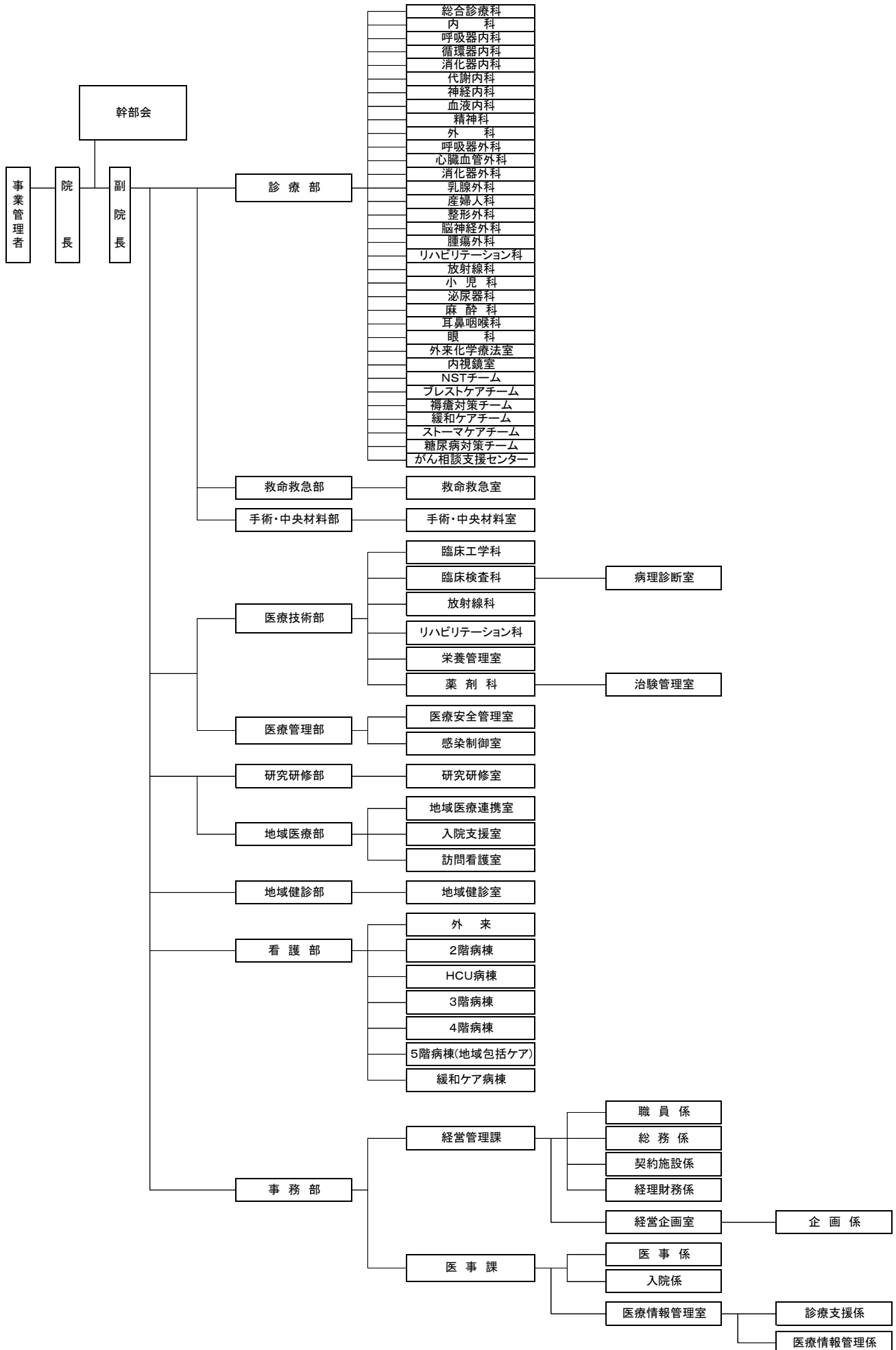
区分①	・鼓室形成術等	・肺悪性腫瘍手術等
区分②	・靱帯断裂形成術等	・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等
	・尿道形成術等	・肝切除手術等
区分③	・上顎骨悪性腫瘍手術	・上顎形成手術等
	・母指化手術等	・内反足手術等
	・人工関節置換術	・バセドウ甲状腺全摘的術
		・食道手術再建術等

当院は、入院食事療養（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時（夕食については午後6時以降）、適温で提供しています。

病 床 数	2 0 1 床（一般病床197床(内HCU6床)、感染症病床4床)			
看 護 体 系	一般病棟入院基本料 7：1、急性期看護補助加算			
職 員 数 (H31. 3月現在)	職 種	常 勤 職 員	非 常 勤 職 員	計
	医 師	25	12	37
	視 能 訓 練 士	1	0	1
	薬 剤 師	7	0	7
	臨 床 工 学 技 士	2	0	2
	臨 床 検 査 技 師	10	0	10
	診 療 放 射 線 技 師	5	0	5
	理学療法士、作業療法士	9	0	9
	栄養士（管理栄養士を含む）	4	0	4
	助 産 師	5	2	7
	看 護 師	146	16	162
	准 看 護 師	10	7	17
	ケアワーカー	0	22	22
	事 務 そ の 他	21	21	42
	計	245	80	325

組織図及び配置

<平成30年3月31日現在>



治 革

年度	病 院 長	事 務 局 長	総 婦 長	摘 要	病 床 数	職 員 数
昭和 23年	松瀬 英夫 23.8～24.5	本田 貞男	岡村 サキ 23.8～38.1	8月1日山鹿町国民健康保険組合診療所として開設		
昭和 25年	坂梨 熊蔵 24.5～29.2			国民健康保険山鹿病院と改称 内科、婦人科に分かれる	22	
昭和 26年				外科新設	38	
昭和 29年	長沼 与助 29.3～30.3 (院長代理)	桑原 義光 猪崎 亀喜 29.6～30.1		4月1日市制施行により国民健康保険山鹿市立病院と改称	74 結核20 一般20 伝病34	36
昭和 30年	園口 忠男 30.4～31.8	光永 究 30.7～31.6		中央病棟、給食棟、手術棟、ボイラー棟増築 医師住宅2戸建設	124 結核50 一般40 伝病34	50
昭和 31年	岡元 宏 31.10～37.7	池田 亘 31.6～33.2			161 結核50 一般77 伝病34	
昭和 32年				看護婦宿舍建設		
昭和 33年		吉田 勇 (助役兼務) 33.2～33.8		医師住宅1戸建設 基準給食許可	179 結核90 一般55 伝病34	57
昭和 36年	金井 次郎 37.9～47.5	栗原 豊 33.8～44.1		4月1日公営企業法「財務規程等の一部」適用 南病棟建設	199 結核90 一般75 伝病34	59
昭和 37年						73
昭和 38年			稲田 ミチ 38.1～44.7	温泉掘削、ポンプ室、浴場建設 鹿本郡市医師会附属看護高等専修学校実習生受託開始		82
昭和 39年				4月1日山鹿市立病院と改称 西病棟、看護婦食堂建設 基準看護許可、夜勤体制:3交代1人夜勤	214 結核90 一般90 伝病34	88
昭和 40年				倉庫、医師住宅1戸建設 基準寝具許可、救急指定4床		101
昭和 41年				看護婦宿舍建設		106
昭和 42年				車庫建設 整形外科新設		105
昭和 43年				温泉掘削、理学療法棟、変電室建設		113
昭和 44年						116
昭和 45年	勝田 和夫 47.5～54.3	吉田 勇(兼務) 44.1～45.1	園田 みつえ 44.8～45.7	人間ドック開始 看護婦時差出勤開始		
昭和 46年		本田敬一郎 45.1～47.1	軒口 ハヤ子 45.7～61.3	看護婦主任制導入 中央病棟(鉄筋4階)建設	254	
昭和 47年		河田 末徳 47.11～48.		特一類基準看護許可 看護婦夜勤体制:3交代2人夜勤	結核50 一般170 伝病34	132
昭和 48年		豊永 正信 48.3～49.				142
昭和 49年		河田 末徳 49.11～51.		救急当直制導入		145
昭和 50年				看護婦管理・救急当直制導入		

年度	病 院 長	事 務 局 長	総 婦 長	摘 要	病 床 数	職 員 数	
昭和 51年		木庭 政弘 51.4～52.4				138	
昭和 52年		築島 孫六 52.5～53.4				144	
昭和 53年		川上 明信 53.4～55.1		理学診療科新設 小児科新設		143	
昭和 54年							
昭和 55年	赤塚 譲 54.9～58.3	北井 澄生 55.2～61.3	西病棟改築 副総婦長制導入		141		
昭和 56年			伝染病院組合解散、伝病患者診療受託				
昭和 57年			特二類看護許可			143	
昭和 58年	飛松 辰典 58.4～3.3		再建対策審議会設置 泌尿器科新設 麻酔科新設 整形外科研修施設認定	254 結核50 一般170 伝病34	134		
昭和 59年			東病棟改築 再建対策審議会答申提示		138		
昭和 60年			外来棟(1階一部4階)建設 眼科、耳鼻咽喉科新設 結核病床20床減 眼科研修施設認定	234 結核30 一般170 伝病34	148		
昭和 61年			猿渡 英一 61.4～62.3	永田 礼子 61.4～1.3	作業療法施設新設 手術室小改造 マニホールド室建設 血管造影装置導入		166
昭和 62年			中原恵三知 62.4～1.3		病理検査室新設 泌尿器科研修施設認定 看護記録:POS導入		
昭和 63年					開設40周年記念式典		
昭和 64年	今井 正博 1.4～3.3	長野 静子 1.4～3.12	眼科外来検査訓練室増築	175			
平成 2年			全身用CTスキャナー導入	179			
平成 3年	荒瀬 正信 3.4～4.1 (院長代理)	清田 雅雄 3.4～5.1		基準看護、給食、寝具承認 一般病床24床増床許可 伝染病床19床減床許可	239 一般194 結核30 伝病15	178	
平成 4年						立山 侖子 4.1～6.2	
平成 5年		松永 孝雄 5.2～6.2		外来棟2・3階病棟増築 西病棟、中央病棟他改修 検査室増築 呼吸器科、循環器科、消化器科新設 結核病棟30床廃止許可	209 一般194 伝病15	177	
平成 6年				木庭 俊樹 6.2～9.3			飯盛 由紀代 6.2～8.3

年度	病 院 長	事 務 局 長	総 婦 長	摘 要	病 床 数	職 員 数
				作業療法(Ⅱ)施設基準届出 薬剤管理指導施設基準届出 新看護加算A届出		
平成 7年				中央病棟スプリンクラー施設整備及び改修工事 夜間勤務加算届出、外来当直制導入 特別管理給食加算届出 認定看護管理者ファーストレベル教育研修受講		177
平成 8年			西島 怜子 8.4～12.3	代謝内科新設 理学診療科をリハビリテーション科に変更 麻酔管理科、夜間勤務看護加算届出 新看護、病衣貸与施設 院内感染防止対策加算届出 看護補助料変更届け出 固定チーム継続受け持ち制導入 新看護体系2.5:1、看護助手加算15:1 災害拠点病院指定(12.27)		
平成 9年		井寺 哲郎 9.4～15.3		看護科を看護部に変更		174
平成 10年				玉名女子高等学校実習生受託開始 開設50周年記念講演会・祝賀会 広域災害救急医療情報システム(EMIS)導入(8.1)		173
平成 11年				第二種感染症指定医療機関に指定(4床)	201 一般197 感染4	
平成 12年			倉原 益子 12.4～15.3			171
平成 13年				マルチスライスヘリカルCTスキャナー導入 1.5テスラMRI導入 看護婦を「看護師」に変更		
平成 14年						
平成 15年		清田 辰郎 15.4～18.3	淵上 マスミ 15.4～17.3	山鹿市立病院事業審議会諮問(～平成16年) 山鹿市立病院病棟等改築基本設計		160
平成 16年	本郷 弘昭 16.4～26.3	※事務部長に 職名変更	※看護部長に 職名変更	山鹿市立病院事業審議会(8回) オーダーリングシステム導入 1市4町合併(平成17年1月15日)新山鹿市誕生		
平成 17年			丸山 よしえ 17.4～23.3	病院事業審議会(5回)「山鹿市立病院事業計画」について (答申) チーム医療の確立(NST、褥瘡、緩和、プレスト、ストーマ等) ホームページ開設		159
平成 18年		星子 四郎 18.4～21.3		日本医療機能評価機構 病院機能評価(Ver.4)取得 山鹿市立病院病棟等改築実施設計 入院基本料10対1看護配置		163
平成 19年						
平成 20年				山鹿市立病院病棟等改築工事着工(7.10) 開放型病院広報紙「つばさ」創刊(10.1) 入院基本料 7対1 の取得 公立病院改革プラン策定		168
平成 21年		荒木 隆 21.4～26.3		DPC本格実施(7.1) 医療研修センター運営委員会設立 開放型病院運営委員会設立		170

年度	院 長	事 務 部 長	看 護 部 長	摘 要	病 床 数	職 員 数
平成 22年	※院長に職名 変更			地方公営企業法全部適用 組織9部体制に変更 新病棟運用開始(5.15・免震棟・5階建) シネアンギオ装置・CT(64列)・内視鏡システム他導入 ハイケアユニット(HCU)6床入院医療管理開始 診療材料院内SPD(業者一括納入方式)開始 地域医療支援病院名称使用承認(11.4) 院内がん登録開始 経営改善評価委員会の設置		178
平成 23年			竹下 基志子 23.4～28.3	山鹿市民医療センターに名称変更(4.1) 産婦人科外来診療の再開(4.1) 医薬品簡易SPD導入 業績(人事)評価制度導入 新外来棟工事竣工(4.11)、運用開始(5.2) 「山鹿市民医療センター」グランドオープン 記念式典(4.16) 産婦人科病棟開棟(7.1) 医療機能評価(Ver.6)認定取得(12.2) 熊本DMAT指定病院指定(3.27) 山鹿市民医療センター改革プラン改訂版策定		188
平成 24年				緩和ケア病棟開棟(4.1) 整形外科・呼吸器内科の紹介型外来診療開始(4.1) 糖尿病専門外来を開設(8.1) 産婦人科病棟開棟後、100人目の赤ちゃん誕生(10.29) 熊本県指定がん診療連携拠点病院の指定(11.16)		224
平成 25年				訪問看護室「菜の花」開所記念式典(4.11) 電子カルテ稼働(7.1) 管理職宿泊研修開始		232
平成 26年			豊永 政和 26.4～	飯田 啓詩 26.4～		248
平成 27年				精度保証施設認定(4.1) 小児科外来再開(5.1) 地域包括ケア病棟開設(9.1)		251
平成 28年			野中 理佳 28.4～	消化器内科再開(入院) 超音波内視鏡導入 睡眠時無呼吸症候群(SAS)検診開始 公立病院改革プラン策定部会設置		245
平成 29年				事務部総務課・経理課を経営管理課に統合 日本肝臓学会認定施設認定(4.1) 肝癌集学的治療グループ立ち上げ 腫瘍内科外来診療開始 病院機能評価(評価項目3rdG:Ver.1.1)認定取得(12.18) 日本消化器病学会認定施設認定(1.1) 新山鹿市民医療センター病院改革プラン策定(3.31) 日本消化器外科学会専門医修練施設認定取得(1.1)		243
平成 30年		永田 臣司 30.4～		日本胆道学会認定指導医制度指導施設認定(7.1) 熊本県地域医療拠点病院指定(3.27)		

行事・イベント開催一覧

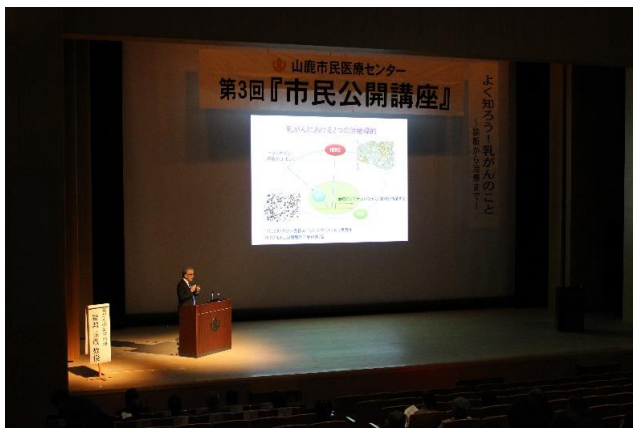
- 5月11日 看護の日
- 8月 2日 高校生の1日看護体験
- 11月10日 第3回市民公開講座(山鹿市民交流センター)
- 11月29日 第1回火災避難(自衛消防)訓練
- 12月14日 開放型病院運営協議会総会・懇談会並びに三師会忘年会
- 12月19日 クリスマスコンサート
- 3月14日 第2回火災避難(自衛消防)訓練
- 3月26日 BCPに基づく災害訓練



5/12 看護の日



8/1,2 鹿本高校インターンシップ



11/10 第3回市民公開講座(山鹿市民交流センター)



11/10 第3回市民公開講座(山鹿市民交流センター)



11/29 第1回火災避難(自衛消防)訓練



12/14 開放型病院運営協議会総会



12/14 三師会忘年会



12/21 クリスマスコンサート



3/14 第2回火災避難(自衛消防)訓練



3/26 BCPに基づく災害訓練